

令和元年度 こうちふるさと寄附金の活用状況（実績）

高知県を応援して下さる全国の皆さまから、「こうちふるさと寄附金」としてご寄附をいただき、環境保全、子ども・子育て支援、観光振興などの事業を進めています。

令和元年度は、下記の事業（8分野、13事業）に活用させていただきました。



分野1 教育環境の充実

○地域食育推進事業実施委託料（1,641千円）

県内全市町村において、小学生等を対象にした食育講座を計142回、量販店等で行う食育イベントを計50回行いました。食育講座では、朝食の大切さや簡単な朝食づくりについて子どもと保護者の理解が深まり、食育イベントでは、地域住民と健康的なレシピの紹介や試食、クイズ等を通じて交流しました。



○図書館活動費（2,014千円）

オーテピア高知図書館において、学校図書館への貸出図書や、「ティーンズ・コーナー」の図書（10代を対象にした読みやすく、学校の学習内容の理解や進路、就職に役立つ図書）、IT・ビジネス・産業関連の専門図書を購入しました。



分野2 子どもや子育ての支援

○子ども食堂支援事業費補助金 等（1,125千円）

食事の提供を通じた「子どもや保護者の居場所」「保護者の孤立感や負担感を軽減する場」「地域で子どもたちを見守る場」として設置が進む、子ども食堂の開設や運営を支援しました。令和元年度は新たに8箇所の高知家子ども食堂が開設しています。



分野3 南海トラフ地震対策

○地域防災対策総合補助金（17,159千円）

南海トラフ地震をはじめ、災害時における地域の防災力を高めるため、自主防災組織等による防災資機材の購入や学習会、避難訓練等の開催を支援しました。住民一人一人の意識や、地域の防災力の高まりにより、「災害に強い人づくり」が進んでいます。



分野4 観光の振興

○自然・体験型観光キャンペーン事業費補助金（1,172千円）

「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」の展開により、令和元年は県外から約438万人の方々にお越しいただくなど、県内各地の賑わいの創出につながりました。



裏面へ続きます。

分野5 スポーツや芸術・文化の振興

○全日制高等学校運営費（347千円）

岡豊高等学校と中村高等学校で新たに楽器を購入しました。学内行事のほか、各種コンクールや地域の演奏会などに参加し、生徒のモチベーションの向上につながっています。



分野6 自然環境や生物多様性の保全

○清流保全計画指標モニタリング事業費（593千円）

物部川及び仁淀川の清流保全の取り組みの達成状況を把握するため、水生生物の生息状況や透明度などに関する調査を行うとともに、得られた結果を小中学生の環境学習に活用しました。

○四万十川流域河川環境対策検討委託料（2,453千円）

四万十川水系の広見川流域において、水田から発生する濁水を軽減するための調査・検討を行いました。

○サンゴ分布調査委託料（2,486千円）

生態系の保全や資源の活用に向けて、県沿岸におけるサンゴの分布状況などの調査と報告会を行いました。

○あゆ等放流用種苗生産委託料（3,139千円）

あゆの資源保全のため、県内17河川に放流するための種苗を32トン（320万尾）生産しました。



分野7 人と動物との共生の推進

○人と動物の共存推進事業費（1,000千円）

メス猫の不妊手術費用の一部を助成し、令和元年度は1,469匹の不妊手術を行いました。不幸な猫を生み出さないための繁殖制限へのご理解・ご協力が進み、県内の猫の殺処分数は減少傾向にあります。



分野8 県政全般

○集落の活力づくり支援事業費補助金（4,950千円）

集落の活性化、地域の経済活動の推進や生きがいの創出など、住民の皆さまが主体的に取り組む事業（県内5地域）を支援しました。



<災害関連事業>

○河川改修事業費（550千円）

平成30年7月豪雨など、近年頻発する豪雨災害に備え、県管理河川において河道の拡幅や河床の掘削などを行うことで、洪水時に安全に水を流すことが可能となりました。



ますます元気で活力あふれる地域づくりを進めていきますので、今後も高知県へのお力添えをよろしくお願いいたします。